



# しらさぎ

求めて学ぶ 考えて行う 自ら鍛える

目黒区立第八中学校  
学校だより NO. 16  
(通巻116号)  
平成28年(2016)  
9月24日(土)

《道徳授業地区公開講座 資料》

## 『これからの道徳の授業』と『情報モラル』

校長 飯野 博史

お忙しい中、道徳授業地区公開講座にお集まりいただきましてありがとうございます。平成31年度から道徳は「特別の教科 道徳」として教科化されることとなりました。道徳科として本格実施されるまでの3年間は、移行準備期間として各学校で道徳授業を充実させていくことになっています。そこで、第八中学校の道徳の授業について紹介するとともに、今後の道徳授業はどうなっていくのかなどについて「Q & A形式」でまとめてみました。

### Q 1. 八中の道徳の授業はいつやっているのですか？教材は何ですか？

八中では道徳の授業を全学年水曜日の5校時に行っています。教材は、各学年とも副読本『中学生の道徳』（あかつき）を使用しています。また、『わたしたちの道徳』（文部科学省）、『心みつめて』（東京都教育委員会）も活用しています。さらに、各教員が新聞記事や書籍、テレビ、インターネットなどから、生徒に興味・関心のありそうな題材、タイムリーな話題などを扱うこともあります。年間指導計画に基づいて授業を進めていますが、その時々生徒の課題や実態に応じて教材を選んで授業を実施しています。

### Q 2. 生徒たちの反応はどうですか？

昨年度の学校評価アンケート「道徳の授業では、お互いの意見を交換し合ったり、お互いを認め合ったりする場面がありますか」という問いに90%近くの生徒が肯定的な評価をしています。「道徳の時間が楽しみだ」「もっとやった方がいい」といった自由意見もありました。継続して続けることで、生徒たちにも道徳の授業が受け入れられています。また、保護者の方からも90%以上の肯定的な評価をいただきました。

### Q 3. 生徒たちは変わってきましたか？

お互いの意見を交換し合うことで学級に信頼関係や落ち着きが感じられるようになりました。安心して自分の意見が言える環境を大事にしています。先生と生徒の信頼関係も深まりました。道徳の授業は即効性を期待するものではありません。道徳の授業で育てているのは「心」です。「心」がすぐに行動に表れるわけではありません。行動にはなかなか表れないかも知れませんが、「心」をたくましくすることで、道徳的価値に照らして自己を見つめ、様々な状況下で主体的に対応できる力となっていきます。

### Q 4. 道徳が教科化されると今までとどう変わるのですか？

指導内容はそれほど大きく変わりませんが、教材をどう扱うか、発問をどうするか、授業をどう展開するかなど、指導方法が変わります。「『考え、議論する』道徳授業」がキーワードとなっています。道徳授業というと、親孝行、博愛、慈善、愛国心など徳目を押しつけるものという古いイメージがあります。また、いつも読み物教材を使ってマンネリ化した発問をして生徒に興味・関心が湧かない、といった反省もあります。「アクティブ・ラーニング」と言われるように、道徳の授業にも「考え、議論する」

ことが必要であるということになりました。一問一答式の発問ではなく、課題を設定し生徒自らが解決していくような授業展開が求められています。

さらに、道德の学習状況を評価することになります。どのような形で評価するか、今検討されているところですが、「心」の成長を数値化することは難しいので、所見のような形で、個人内評価として文章化して評価することになると思われます。

#### Q 5. 今日の道德の授業のねらいは何ですか？

今日の授業は全学年「情報モラル（インターネットによる人権侵害）」をテーマとしました。携帯電話やスマートフォンは便利な反面、使い方を誤ると大きなトラブルに発展します。八中でもトラブルが起きました。エスカレートしていくと、いじめに発展する場合もあります。東京都教育委員会人権尊重教育推進校として、インターネットによるいじめ、人権侵害について考えてみることにしました。

道德の指導内容 4「主として集団や社会とのかかわりに関すること (1)法やきまりの意義を理解し、遵守するとともに、自他の権利を重んじ義務を確実に果たして、社会の秩序と規律を高めるように努める。」ということになります。

また、情報機器はどんどん進化して教師や保護者も、子供たちの知識に追いついていけない状況ではないでしょうか。ケータイやスマホをうまく活用していくにはどうしたらよいのか、家庭で子供たちにどんな指導や声掛けが必要なのか、改めて考える機会をもつために、今回PTA家庭教育講座「被害者にも加害者にもならない！ネット・ケータイの正しい使い方」とタイアップして実施することとしました。

情報モラルについて、保護者・地域の方といっしょに考えていくのがねらいです。

#### Q 6. 八中ではケータイやスマホを使用する上でのルールをつくりましたか？

昨年度、八中では生徒の意見も聞きながら、以下の『SNS利用ルール』を策定しました。

- 1 学校に携帯電話等を持ち込まない。
- 2 インターネット上に、他人の個人情報や悪口などを絶対に書き込まない。  
また 自分の写真や個人情報も書き込まないようにしよう。
- 3 架空請求メールが届いても絶対に返信せず無視する。
- 4 トラブルが起きたときは、信頼できる大人に相談する。
- 5 各家庭でSNSルールをつくりましょう。  
※目黒区児童・生徒の携帯電話等使用に関する指針では、中学生の利用時間は午後10時までを目安としています。

学校では全校生徒対象に「情報モラル教室」を実施しています。

#### ◎生徒の活躍

- ・現代ジュニア俳句コンクール（主催：現代俳句協会 ジュニア部）

佳作 ○○ ○○さん 「油照り大きく迫る法隆寺」

- ・平成28年度全国中学校体育大会・第56回全国中学校水泳競技大会 8/18、19

1 位 ●● ●●くん 200mバタフライ 2分02秒47

1 位 ●● ●●くん 100mバタフライ 55秒52

素晴らしい成績で国体にも出場しました。4年後の東京オリンピックにも期待がかかります。目黒区教育委員会「きょういく広報」11月号にインタビュー記事が掲載される予定です。